

18 番の歌 贖いに感謝する

エホバが許してくださることに心から感謝する

「神は、自分の独り子を与えるほどに人類を愛した」。ヨハネ 3:16

ポイント：エホバがどんな根拠に基づいて罪を許してくださるかをよく理解し、感謝を深めましょう。

1-2. 私たちの状況は、1 節に出てくる青年とどんな点で似ていますか。

想像してみてください。裕福な家庭で育ったある青年が突然悲劇に見舞われます。両親が事故で亡くなってしまったのです。この青年はひどくショックを受けます。でも、さらに衝撃的な事実を知ることになります。両親が財産を使い果たし、多額の借金を残していたのです。青年は財産どころか負債を受け継ぐことになり、返済を求められます。自分の力で負債を返すことは到底できそうにありません。

2 私たちもこの青年と同じような状況にいます。祖先であるアダムとエバは完全な人で、美しいパラダイスに住んでいました。（創 1:27 それから神は人を自分に似た者、神に似た者として創造した。男性と女性を創造した。2:7-9 エホバ神は地面の土で人を形作り、その鼻に息を吹き込んで命を与えた。すると生きた人(*呼吸する生き物/へ語ネフェシュ)になった。8 さらにエホバ神は東方のエデンに庭園を造り、自分が形作った人をそこに置いた。9 エホバ神は、食べられる実を付けるさまざまな美しい木が地面から生えるようにし、庭園の真ん中に命の木を生えさせた。また、善悪の知識の木を生えさせた。）幸せな生活がずっと続く見込みがありました。でもある時、事態は一変します。パラダイスという住まいも、永遠に生きる見込みも失ってしまいました。アダムの子孫は何を受け継ぐことになったのでしょうか。聖書にはこうあります。「1 人の人[アダム]によって人類に罪が入り、罪によって死が入り、こうして、全ての人が罪人になったために、死が全ての人に広がった」。（←ロマ 5:12）私たちはアダムから罪を受け継ぎ、死ぬようになりました。この罪は、誰も支払うことのできない巨額の負債のようです。（詩 49:8（人の命を買い戻す(*命のための贖いの)代価は非常に高く、とても支払えない。））

3. 私たちの罪が「負債」に似ているといえるのはどうしてですか。

3 聖書で罪は「負債」に例えられています。（マタ 18:32-35 そこで主人は、その男性を呼んで言いました。『邪悪な奴隷よ、あなたが嘆願した時、私は負債を全て取り消してあげました。33 私があなたに憐れみを掛けたように、あなたも仲間の奴隷に憐れみを掛けるべきではありませんでしたか』。34 憤った主人は、借金を全て返すまで、その男性を牢番たちに引き渡しました。35 もしあなたたち各自が仲間を心から許さないなら、天の父もこの主人と同じようにします。）私たちは罪を犯す時、エホバに対して負債を負うことになるといえます。それで、その負債を返済し

なければいけない状況にいます。それができなければ、死という代償を払うしかありません。（[ロマ 6:7](#) 死んだ人は自分の罪から放免されているのです、[23](#) 罪の代償は死ですが、神が与える贈り物は、私たちの主であるキリスト・イエスによる永遠の命なのです。）

4. (ア) 罪を犯した人は皆、誰かに助けてもらわなければどうなってしまいますか。（[詩編 49:7-9](#)） (イ) 聖書で「罪」という言葉は何を指していますか。（「[罪](#)」の囲みを参照。）

4 [アダムとエバが失ったものを全部取り戻す](#)ことはできるのでしょうか。自分たちの力ではできません。（[詩編 49:7-9](#) 誰一人として兄弟を買い戻すことはできない。彼のための贖い(*)を神に差し出すことはできない。8 (人の命を買い戻す(*命のための贖いの)代価は非常に高く、とても支払えない。) 9 彼を永遠に生き続けさせようとしても。墓穴を見ないようにさせようとしても。を読む。) 誰かに助けてもらわなければ、将来の命の希望も復活の希望も持つことはできません。動物と同じように、死んだらそれで終わりということになります。（[伝 3:19](#) 人には終わりがあり、動物にも終わりがある。皆、同じ終わりを迎える。動物は死に、人も死ぬ。皆、1つの命(*息)を持っている。だから人は動物より優れているわけではない。全てはむなしい。[ペテ二 2:12](#) しかし、偽りを教える人たちは、自分が知らない事柄について悪く言います。捕らわれて殺されるために生まれ、本能的に行動する、理性のない動物のようです。自分の破壊的な行いによって破滅に至り、)

罪

聖書の中で「罪」という言葉は、次のような意味で使われています。

- ・ **原罪**、つまりアダムがエホバ神に対して犯した**最初の違反**。（[創 3:17-19](#) アダム(m*地の人/人間/人類)にはこう言った。「あなたが妻の言ったことに従い、『食べてはならない』と私が命じた木の実を食べたので、あなたのせいで地面は災いを被った。それであなたは、地面から食物を得るために生涯ずっと苦勞する。18 地面にはいばらとアザミが生え、あなたは野の草木を食べなければならない。19 あなたは額に汗して食物(*パン)を得、やがて地面に戻る。そこから取られたからだ。あなたは土なので土に戻るのである」。[ロマ 5:14](#) それでも死は、アダムからモーセに至るまで、王として支配しました。アダムの違反と同様の罪を犯さなかった人に対してもです。アダムには、来ることになっていた方との類似点がありました、[17](#) 1人の人の過ちにより、その人を通して死が王として支配したのですから、まして、惜しみない親切を豊かに示され、無償の豊かな贈り物として正しいと認められる人たちは、1人の人イエス・キリストを通して命を得、王として治めるのです。）

- ・ **良くないことを考えたり行ったりしてしまう傾向**。アダムが罪を犯した結果として子孫に受け継がれたもの。（[詩 51:5](#) 私は過ちのある者として生まれ、母は罪のうちに私を身ごもりました(*母が私を身ごもった時から罪深い人間です)）

- ・ **受け継いだ傾向のせいでしてしまうことがある悪い行い**。意図的なものも、そうでないものもある。（[ヨハ 8:34](#) イエスは答えた。「はっきり言っておきますが、罪を犯す人は皆、罪の奴隷です。[ヤコ 1:14, 15](#) 人はそれぞれ、自分の欲望に引かれて惑わされる(*餌によるかのように捕らわ

れる)ことにより、試されるのです。15 欲望は膨れ上がった(d*身ごもった)時に罪を生みます。そして、罪は犯された時に死をもたらします。)

5. 受け継いだ罪という負債の返済を可能にするために、愛情深いお父さんエホバはどんなことをしてくださっていますか。(挿絵を参照。)

5 最初に出てきた青年のことを考えてみてください。ある裕福な人から負債を全て払ってあげると言われたなら、その青年はどう感じると思いますか。きっと心から感謝し、その親切な申し出を受け入れることでしょう。同じように、愛情深いお父さんエホバは、アダムから受け継いだ罪という負債の支払いを可能にしてくださいました。イエスはこう説明しています。「神は、自分の独り子を与えるほどに人類を愛したのです。そのようにして、独り子に信仰を抱く人が皆、滅ぼされないで永遠の命を受けられるようにしました」。(←ヨハ 3:16) さらに、エホバがこのようにしてくださったおかげで、エホバとの良い関係を持つことができるようにもなりました。



イエスは、エホバが贖いを根拠にして許してくださいという良い知らせを広めた。(ヨハ 3:16) そして自分の命を贖いとして進んで捧げた。(5 節を参照。)

6. この記事では、聖書に出てくるどんな表現について考えますか。どうしてですか。

6 エホバがしてくださったことのおかげで、「負債」ともいえる罪を許してもらうことが可能になりました。どのようにでしょうか。その答えを知るため、和解、贖罪、贖い、買い戻し、正しいと認めるといった表現が聖書でどのように使われているかを調べます。この記事では、こうした表現の意味を一つ一つじっくり考えていきます。エホバがどんなことを根拠にして許してくださいのか考えると、感謝が深まるでしょう。

エホバの願い: 和解

7. (ア) アダムとエバはほかに何を失いましたか。(イ) アダムとエバの子孫である私たちがどうしても必要としていることは何ですか。(ローマ 5:10, 11)

7 アダムとエバは永遠に生きる見込みだけでなく、天のお父さんエホバとの貴重な関係も失いました。もともとアダムとエバはエホバの家族でした。(ルカ 3:38 エノシュ、セツ、アダムに至る

。そしてアダムは神の子であった。) でもエホバに従わなくなり、その家族から追い出されました。2 人に最初の子供が生まれたのはその後でした。(創 3:23, 24 エホバ神は人をエデンの園から出し、地面を耕させた。その地面から人は取られた。24 こうして神は人を追い出し、ケルブたちと、回転し続ける炎の剣とをエデンの園の東に配置して、命の木への道を守らせた。4:1 さて、アダムは妻エバと関係を持ち、エバは妊娠した。エバはカインを産み、「私はエホバの助けで男の子を産んだ」と言った。) それで、2 人の子孫である私たちはエホバと和解する必要があるあります。(ローマ 5:10, 11 敵だった時に神の子の死によって神と和解したので、まして和解した今、神の子の命によって救われるはずなのです。11 それだけでなく、私たちは、主イエス・キリストのおかげで、神との関係を喜んでいます。キリストを通して神と和解したからです。を読む。) エホバとの関係を修復する必要があるということです。ある参考文献によると、ここで使われている「和解」に当たるギリシャ語は、「敵と友になる」ことを意味する場合があります。エホバは私たちが友になることを願って、なんと自分の方から行動してくださいました。どんなことをしてくださったのでしょうか。

方法: 贖罪

8. 贖罪とは何ですか。

8 エホバは罪深い人類がご自分との友情関係を取り戻せるよう、ある方法を取りました。贖罪です。贖罪には、あるものをそれと同じ価値の別のものと交換することが関係しています。そのようにして、失われたものを取り戻したり、壊れたものを取り換えたりすることができます。ギリシャ語聖書では、「贖罪」とよく似た意味の償いという言葉が使われています。(ロマ 3:25 神はキリストを、償いのための捧げ物として差し出してくださいました。キリストの血への信仰によって神と和解できるようにしてくださったのです。神がキリストを差し出したのは、ご自分が正しかったということを示すためでした。かつて辛抱しつつ、過去に犯された罪を許していたことは、正しかったのです。) 償いによって、人間は神との良い関係を持てるようになります。

9. イスラエル人の罪を許すため、エホバは一時的にどんな方法を取りましたか。

9 エホバは一時的に、ある方法によってイスラエル人の罪を許し、ご自分との良い関係を持てるようにしました。イスラエルでは年に一度贖罪の日があり、大祭司は人々のために動物の犠牲を捧げました。もちろん、動物の犠牲は誰の罪も完全に贖うことはできませんでした。動物の命の価値は人間の命の価値に及ばなかったからです。でもイスラエル人が悔い改めて、エホバから求められている犠牲を捧げる限り、エホバは進んでイスラエル人の罪を許しました。(ヘブ 10:1-4 律法は後に来る良いものの影にすぎず、実体ではありません。ですから、毎年同じ犠牲が捧げられても、神に近づく人が律法(if*人々/祭司たちのことかもしれない)によって完全になることは決してありません。2 もし完全になるとすれば、神聖な奉仕をする人は一度清められれば罪の自覚がなくなるので、もう犠牲は捧げられていないはずではないでしょうか。3 ところが逆に、犠牲は毎年捧げられ、罪を思い出させるものとなっています。4 雄牛やヤギの血は罪を取り去ることができないからです。) 贖罪の日に捧げられた犠牲や日々の罪の捧げ物は、自分たちが本当に罪

深いことや、罪を完全に取り除くためにより優れた解決策が必要であることをイスラエル人に意識させました。

10. エホバは人類の罪を完全に許すためにどんなことをしましたか。

10 エホバは、人類の罪を完全に許すための方法を考えていました。それは、ご自分の愛する子イエスが「多くの人の罪を負うために一度限り自分を捧げ」というものでした。（[ヘブ 9:28](#) キリストも、多くの人の罪を負うために一度限り自分を捧げました。そして、2度目に現れるのは罪を取り除くためではありません。キリストに救われることを一心に待ち望んでいる人たちに現れるのです。）イエスは「多くの人と引き換える贖いとして自分の命を与え」ました。（[マタ 20:28](#) 人の子も、仕えてもらうためではなく仕えるために、また多くの人と引き換える贖いとして自分の命を与えるために来ました。）贖いとは何でしょうか。

代価: 贖い

11. (ア) 聖書によると贖いとは何ですか。(イ) 贖いを支払うことができるのはどんな人だけでしたか。

11 聖書によると、贖いは贖罪や和解のために支払われる代価のことです。*「贖い」という言葉を、「命の代価」や「支払われたもの」といった意味の表現に訳している言語もあります。エホバにとって贖いは、失われたものを回復させる根拠となります。どういうことでしょうか。アダムとエバは完全な命といつまでも生きる見込みを失いました。それで、贖いの代価は失われたものと同じ価値を持つ必要がありました。（[テモ 2:6](#) 全ての人のための対応する贖い(*)として自分を与えました。このことについては、定められた時に語られることになっています。）その代価を支払うことができるのは、(1) 完全で、(2) 地上でいつまでも生きる見込みを持ち、(3) 私たちのために進んで命を犠牲にしようとする、成人した男性だけでした。そのような人の命だけが、失われた命の代わりになることができました。

12. イエスが、必要とされている贖いの代価を支払うことができたのはどうしてですか。

12 イエスが贖いの代価を支払うことができた3つの理由を考えましょう。(1) イエスは完全で「罪を犯」しませんでした。（[ペテ 2:22](#) キリストは罪を犯さず、欺きを語ったこともありませんでした。）(2) そのためイエスには地上でいつまでも生きる見込みがありました。(3) イエスは私たち人類のために自分の命を進んで差し出しました。（[ヘブ 10:9, 10](#) それからこう言っています。「ご覧ください、私はあなたの望まれることを行うために来ました」。キリストは、第二のものを確立するために、第一のものを除き去るのです。10 この「望まれること」により、イエス・キリストの体が一度限り捧げられたので、私たちは神聖なものとされています。）完全な人としてのイエスの命と、罪を犯す前の最初の人間アダムの命には、同じ価値がありました。（[コリ 15:45](#) 「最初の人アダムは生きた人になった」と書かれています。最後のアダムは、命を与える、目に見えない存在になりました。）それで、イエスは自分の命を犠牲にすることによってアダムの罪を贖い、アダムが失ったものを取り戻すことができました。（[ロマ 5:19](#) 1人の人の不従順によって多くの人が罪人になったように、1人の人の従順によって多くの人が正しい人になるの

です。) このようにして、イエスは「最後のアダム」になりました。別の完全な人が、アダムが失ったもののためにさらに代価を支払う必要はありません。イエスは死ぬことによって、「一度で永遠に有効な犠牲を捧げた」のです。(ヘブ 7:27 この方は、ほかの大祭司とは違い、まず自分自身の罪のために、次いで民の罪のために、毎日犠牲を捧げる必要はありません。自分を捧げた時、一度で永遠に有効な犠牲を捧げたからです。:10:12 しかしキリストは、永遠に罪を取り去る 1 つの犠牲を捧げて神の右に座り、)

13. 贖罪と贖いはどう違いますか。

13 贖罪と贖いはどう違うのでしょうか。贖罪とは、人類が神と再び良い関係になれるようにするために、神が取った方法です。贖いは、罪深い人類の贖罪を可能にするために支払われる代価のことです。この代価は、イエスが私たちのために注ぎ出した貴重な血によって支払われました。(エフェ 1:7 その豊かな惜しめない親切のおかげで、私たちはキリストの血によって贖われ(*), 解放されています。過ちを許されているのです。ヘブ 9:14 永遠の聖なる力により自分を傷のない犠牲として神に捧げたキリストの血は、なおのこと、むなしい(d*死んでいる)行いによって汚れていた私たちの良心を清め、生きている神への神聖な奉仕を行えるようにするのではないのでしょうか。)

結果: 買い戻され、正しいと認められる

14. これからどんなことを考えますか。どうしてですか。

14 贖罪が行われると、どんな良い結果になりますか。聖書では、その点を際立たせる表現が幾つか使われています。それらの表現は一部意味が重なる部分がありますが、許しを可能にする贖罪の特定の面をそれぞれ強調しています。そうした表現の意味を調べ、私たち一人一人にどんな影響があるか考えましょう。

15-16. (ア) 聖書の中で「買い戻し」という言葉はどんなことを指していますか。(イ) そのことを考えると、どう感じますか。

15 聖書の中で買い戻しという言葉は、贖いが支払われることによって解放されたり無罪とされたりすることを指しています。そのことを使徒ペテロは次のように説明しています。「ご存じのように、父祖たちから受け継がれてきたむなしい生き方から皆さんが自由にされた[直訳、「贖われた」、「買い戻された」]のは、銀や金といった朽ちる物によるものではありません。傷も汚点もない子羊の血のような貴重な血、つまりキリストの血によるのです」。(ペテ 1:18, 19, 脚注 ご存じのように、父祖たちから受け継がれてきた(*伝統的な)むなしい生き方から皆さんが自由にされた(d*贖われた/買い戻された)のは、銀や金といった朽ちる物によるものではありません。19 傷も汚点もない子羊の血のような貴重な血、つまりキリストの血によるのです。)

16 贖いの犠牲のおかげで、私たちは苦しみの原因となっている罪と死の支配から自由になることができます。(ロマ 5:21 何のためでしょうか。罪が死と共に王として支配したように、惜しめない親切も正しさを通して王として治め、主イエス・キリストによって永遠の命に導くためです。) イエスの貴重な血つまり命によって買い戻していただいたことを考えると、エホバとイエスに対

して本当に恩義を感じるのではないのでしょうか。（[コリ 15:22](#) アダムゆえに全ての人が死んでいくように、キリストのゆえに全ての人が生かされるのです。）

17-18. (ア) 正しいと認めるとはどういう意味ですか。(イ) そのことは私たちににとってどんな意味がありますか。

17 正しいと認めるとは、負債の請求を取り下げ、その記録を消し去って、なかったことにすることを意味しています。とはいえ、エホバがご自分の公正の基準を曲げるというわけではありません。エホバが私たちを正しいと認めるのは、×罪を大目に見るからでも、×私たちが何か優れたことをしたからでもありません。○私たちが贖罪に対して信仰を持っていることと、○贖いの代価が支払われたことに基づいて、負債を取り消してくださるのです。（[ロマ 3:24](#) キリスト・イエスが払った贖いによって解放され、神の惜しみない親切によって正しいと認められることは、無償の贈り物なのです。[ガラ 2:16](#) 人が正しいと認められるのは律法に従った行いによるのではなく、イエス・キリストへの信仰による、ということを知っています。それで、私たちはキリスト・イエスに信仰を持ちました。律法に従った行いによってではなく、キリストへの信仰によって正しいと認めていただくためです。誰も、律法に従った行いによって正しいと認められることはありません）

18 このことは私たちににとってどんな意味があるのでしょうか。天でイエスと共に王になるよう選ばれた人たちは、すでに神の子供として正しいと認められています。（[テト 3:7](#) こうして私たちは、その方の惜しみない親切によって正しいと認められた後、永遠の命の希望を伴う財産を受けることができます。[ヨハ 3:1](#) 天の父が私たちにどのような愛を示してくださったかを考えてください。私たちは神の子供と呼ばれるほど愛されており、確かに神の子供です。そのため、世の人々は私たちを知りません。神を知らないからです。）罪を許され、その記録を取り消されているので、神の王国に入る資格を持っています。（[ロマ 8:1, 2](#) こういう訳で、キリスト・イエスと結ばれている人たちは有罪とされていません。²キリスト・イエスと結び付いた命を与える、聖なる力の律法が、あなたを罪と死の律法から自由にしたからです、[30](#) さらに、神があらかじめ定めた人たちは、神が招いた人たちでもあり、神が招いた人たちは、神に正しいと認められた人たちでもあります。そして、神に正しいと認められた人たちは、神が栄光を与えた人たちでもあります）地上で生き続ける希望を持つ人たちは神の友として正しいと認められ、罪を許されています。

（[ヤコ 2:21-23](#) 私たちの父祖アブラハムは、息子イサクを祭壇の上に捧げ、行動によって、正しいと認められたのではありませんか。²²アブラハムの信仰は行動が伴う生きたものだった、ということが分かります。その信仰は行動によって完全にされました。²³「アブラハムはエホバ(*)に信仰を持ち、そのことは正しいと見なされた」という聖句の通りになり、アブラハムはエホバ(*)の友と呼ばれるようになったのです。）ハルマゲドンを通る大群衆には、決して死ぬことなくいつまでも生き続けるという見込みがあります。（[ヨハ 11:26](#) そして、生きていて私に信仰を抱く人は皆、決して死ぬことはありません。このことを信じますか。）死の眠りに就いている人たちは、「正しい人」も「正しくない人」も復活します。（[使徒 24:15](#) また、私はこの方たちと同じ希望を持っております。神が正しい人も正しくない人も復活させてくださるという希望です。[ヨハ 5:28, 29](#) このことに驚いてはなりません。記念の墓の中にいる人が皆、彼の声を聞いて出てくる時が来るのです。²⁹ 良いことをした人は命の復活へ、悪いことを行った人は裁きの復活へと

出てきます。) 最終的に、地上で神に仕える従順な人たちは皆、「神の子供の輝かしい自由を得」ます。(ロマ 8:21 創造物も腐敗への奴隷状態から自由にされ、神の子供の輝かしい自由を得るという希望です(*得るからです)。) 贖罪によって本当に素晴らしいことが可能になります。天のお父さんエホバと完全に和解できるのです。

19. 私たちの状況はどのように変わりましたか。(「[私たちにとってどんな意味があるか](#)」の囲みも参照。)

19 この記事の冒頭に出てきた青年のことを思い出してください。その青年は全てのものを失い、決して返すことのできない巨額の負債を受け継ぎました。私たち人類の状況もそれと似ていました。でも、エホバが助けを差し伸べてくれました。エホバが設けてくださった贖罪と、贖いが支払われたおかげで、状況は変わりました。イエス・キリストに信仰を持つなら、買い戻されて罪と死から自由になることができます。また、私たちが犯す罪も許され、なかったことにしてもらえます。そして何よりも、優しい天のお父さんエホバと良い関係を持てるようになりました。



私たちにとってどんな意味があるか

和解: エホバが目指していること。エホバは不完全な人間がご自分との良い関係を修復できるように願っている。

贖罪: 罪深い人類がエホバとの良い関係を取り戻せるよう、エホバが取った方法。

贖い: 贖罪を可能にするために支払われた代価のこと。つまり、イエスが流した血。

買い戻し: 贖罪によって、罪という負債から解放し、無罪とすること。

正しいと認める: 贖罪によって、罪を消し去り、なかったことにすること。

20. 次の記事ではどんな点について考えますか。

20 エホバとイエスが私たちのためにしてくださったことについてじっくり考えると、心は感謝でいっぱいになります。(コリ二 5:15 その方が全ての人のために死んだのですから、生きている人たちはもはや自分のために生きるのではなく、自分のために死んで生き返らされた方のために生きるべきです。) エホバとイエスのおかげで希望を持てるようになったのです。では、エホバが

許してくださることは、私たち一人一人にとってはどんな意味があるのでしょうか。次の記事ではその点について考えます。

どんなことを学びましたか

1. エホバはどんなことを願って罪を許して下さいますか。

・S07 アダムとエバはエホバに従わなくなり、その家族から追い出された。2人に最初の子供が生まれたのはその後だったので、2人の子孫である私たちはエホバと和解する必要がある。「和解」に当たるギリシャ語は、「敵と友になる」ことを意味する場合がある。エホバは私たちと友になることを願って、なんと自分の方から行動して下さった。

2. エホバはどんな根拠に基づいて罪を許して下さいますか。

・S11 贖いは贖罪や和解のために支払われる代価のこと。エホバにとって贖いは、失われたものを回復させる根拠となるが、アダムとエバは完全な命といつまでも生きる見込みを失ったので、贖いの代価はその失われたものと同じ価値を持つ必要があった。その代価を支払うことができるのは、(1) 完全で、(2) 地上でいつまでも生きる見込みを持ち、(3) 私たちのために進んで命を犠牲にしようとする、成人した男性の命だけが、失われた命の代わりになることができた。

3. エホバが罪を許して下さるおかげでどんなことが可能になりましたか。

・S16 贖いの犠牲のおかげで、私たちは買い戻されて苦しみの原因となっている罪と死の支配から自由になることができる。

・S18 天でイエスと共に王になるよう選ばれた人たちは、すでに神の子供として正しいと認められている。地上で生き続ける希望を持つ人たちは神の友として正しいと認められ、罪を許されている。ハルマゲドンを通り過ぎる大群衆には、決して死ぬことなくいつまでも生き続けるという見込みがある。死の眠りに就いている人たちは、「正しい人」も「正しくない人」も復活する。最終的に、地上で神に仕える従順な人たちは皆、「神の子供の輝かしい自由を得」る。天のお父さんエホバと完全に和解できる。

10 番の歌 私たちの神エホバを賛美しましょう！

△ 「贖い」という言葉を、「命の代価」や「支払われたもの」といった意味の表現に訳している言語もあります。

△ (ヨハ 3:16) 神は、自分の独り子を与えるほどに人類を愛したのです。そのようにして、独り子に信仰を抱く人が皆、滅ぼされないで永遠の命を受けられるようにしました。